

野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO.7
令和3年10月11日 発行
校長 丸山 穰

佐久地域の感染者減少を受け、警戒レベルが4から1に下がりました。校内の活動もレベルに合わせて再開することが多くなりました。しかし、夏休み前にレベル1に下がったのに、すぐに上がってしまったということもありました。ウイルスがなくなったわけでもなく、近隣の上田市では、未だに毎日感染者が出ている状況ですので、手放しに喜ぶこともできません。必要な感染対策は継続しつつの学校生活となります。また、いつレベルが上がるかという不安定な状況でもありますので、急な対応をお願いすることもあるかと思いますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

音楽会の日程変更について 11/18(木)へ

夏休み明けの時点で、音楽会を11月19日(金)に延期するとメール配信にてお知らせいたしました。諸会合の関係で11月18日(木)に変更させていただきます。再度の変更になり、保護者の方々には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。



また、現在のレベルは1となっておりますが、子ども達にとって大切な学びの場となるような音楽会を目指して、感染防止対策をし、密を避けるような開催方法を検討しています。昨年度は2日間にわたって開催いたしましたが、子ども達にとっては、1日開催の方が気持ちのピークをもっていきやすく、そこから学べる達成感や見直したときの自己分析もしやすいと考え、1日開催とします。発表は、相手がいたり、反応してくれたりということが重要です。友だちだけではなく、保護者の方々も大切な発表相手です。しかし、密を避けるために、体育館に入る人数は制限しなければなりません。そこで、学年ごとに分けた2部制の音楽会を考えております。詳細については、後日詳しいお知らせを配布いたしますので、ご確認ください。

今後の学校行事等について

○**避難訓練と引き渡し訓練**… 9月に実施予定でしたが、感染防止の観点から延期しておりました。**避難訓練の方は、10月中に実施**をいたします。引き渡し訓練に関しては、レベル1ですが、大勢の保護者の方々と児童が体育館に出入りすることは、三密回避のために避けたいと思います。そこで、**今年度の引き渡し訓練は中止**とさせていただきます。ご理解のほどよろしく申し上げます。

○**11月2日(火)**ですが、年間計画では小諸市共同研のため4時間授業となっておりますが、新型コロナウイルス感染防止のため、小諸市共同研が来年度に持ち越しになりました。そこで、**11月2日を通常日課とし、午後の授業もある日程**とします。



○11月27日(土)の土曜参観日…年間行事計画では土曜参観日となっております。しかし、音楽会を直前に移させていただいたため、12月に延期させていただきたいと思います。また、感染防止に配慮した日程にしたいので、**土曜日ではなく、平日の12月17日(金)に、地区割りの分散参観(Aグループ2校時、Bグループ3校時)**で行います。**11月27日(土)は休業日、11月29日は、通常登校日**とします。

壮行会 9/24(金) 10/7(木)

9月24日(金)に、SBCの県大会に進んだ合唱部と管楽部の壮行会が行われました。地区大会は、音源審査でしたが、厳重な感染対策の元でステージ発表での県大会(無観客でした)になりました。管楽部は、9月25日(土)、合唱部は10月10日(日)でした。また、管楽部は、小学生バンドフェスティバルへも参加しています。県大会(録画審査)では、みごと満点で県代表となり、東海大会へ進むことになりました。10月7日(木)には、こちらの壮行会を行いました。9月24日はコロナ対策としてテレビ放送としました。10月7日は全校で体育館で聴くことが出来ました。発表は、発表者がいて観客がいることで、双方とも味わえるよさが大きくなります。今回は直接聴く機会がとれて本当によかったです。管楽部は、10月9日(土)のコモテラスのオープニングセレモニーでも発表の機会をいただくことができました。今年度は、校外の方々に聴いていただく初めての機会です。緊張も成長の糧として、楽しんで演奏してくれました。



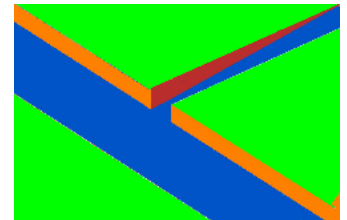
壮行会は、応援のために聴くだけではありません。普段、感染対策をしながら一生懸命練習しているお友達の努力の成果を見て聴いて素晴らしさを感じることで、「頑張ってる素晴らしい結果になっているんだな」「自分も〇〇を頑張ろう」そんな気持ちになってもらいたいと思います。

校長講話 ~田切地形について~ 9/30(木)

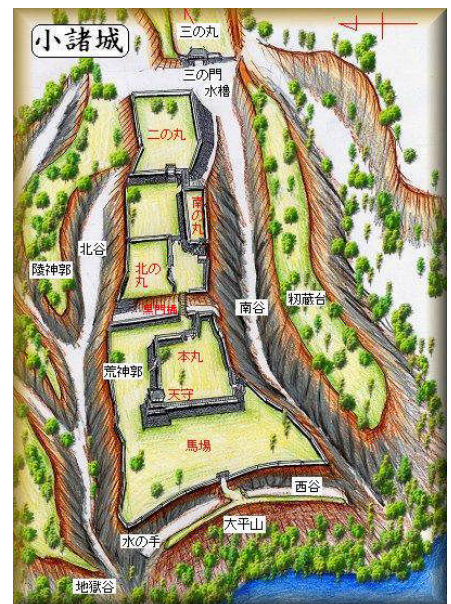
今回は、「こもろのひみつ」と題して、小諸市の田切地形についてお話をしました。子どもたちに、ふるさと小諸について知ってもらい、郷土愛を育んでもらいたいと思ったからです。



最初に田切地形の写真を見せました。美南ガ丘小の近くや懐古園付近の写真です。低学年がよく行く蛇堀川もそうだよと話しました。次に、川の流れによって浸食されてできた過程をイラストで紹介しました。島のような土地になってしまい往来が不便になってしまうので、2000年くらい前は、田切になっていない国道より上に人々は暮らしていました。



そんな逆境をうまく利用して、田切をお堀の代わりに利用してお城を建てることを考えた人がいました。こうして小諸城ができました。田切を利用したお城なので、町は、お城より北側(高い土地に)できるという、全国でも珍しい城下町ができあがりました。



現在のコロナ禍という難しい時期を、工夫して田切をプラスと考えて利用した先人のように、みんなでアイデアを出し合って新しいことを生み出していきたいと思いますとお話をしました。

児童会では、縦割り班(学年をまたいで作られたグループ)で「野岸ンピック」を密にならないよう何日かかけて開催してくれました。学年行事やクラスの行事もいろいろな工夫がされています。今までの経験や知識から、目的に合わせた新しいことを工夫していく力は、不確定なこれからの時代を生きていく子どもたちに必要な力となります。コロナ禍をチャンスと捉えて、成長してもらいたいと考えています。